

# 2019年度 地方創生B戦略 事業体系図



基本目標  
「多くの子どもでにぎやかな家庭を持つ若者が増えている」



手段  
01

結婚支援

手段  
02

多子出産応援

ステージ③

「交際・結婚支援」  
01-02  
きめこまやかな  
支援体制

結婚相談所機能拡充事業  
(社協補助) **Hapimari**

ボランティア仲人養成  
事業 **縁むすびさん**

ステージ②

「出会い機会創出」  
01-01 機会の充実

出会いサポート  
企業推進事業 **オフコン**

婚活イベント補助事業  
**団体補助**

出会い機会創出事業  
**体制変更** **はーとピー**

ステージ①

基本は「自由恋愛」  
01-03 交流の場

出会いにつながる情報発信事業  
**ツッカケ**

土台

新規

ママのイベント補助  
**ママハタ**

子育てママの活躍機会促進事業

子育て広場整備事業

FMジャングル夢チャレンジ

02-05 まちを挙げた応援

ファミリーサポートセンター(再掲)

子育てセンター交流事業

子育てサポート企業推進事業



02-03 仕事の両立  
02-04 パートナーの応援

基本は「給付・支援」  
02-01 出産  
02 育児への応援

ファミリーサポートセンター

不妊治療・不育治療費助成

子育て世代包括支援センター  
産前・産後サポート事業  
産後ケア事業(宿泊型・訪問型)

## まちを挙げての「せわやき」の仕組みを作る

# 「はーとピー」の体制変更による事業拡充

新年度の方角

「はーとピー」を市直営へ

- ① 結婚支援専門員を配置し、「はーとピー」の参加者にアフターフォローを実施！
- ② 「はーとピー」参加者と「縁むすびさん」の登録者をマッチング！
- ③ 専門性を高め、より効果的、継続的に事業を展開！



求められる方角

継続した、きめ細かなサポート！

はーとピーと縁むすびさんが連携！

ノウハウや蓄積されるデータが機能する体制

問題点

その1  
カップルの交際が継続しない

その2  
マッチングの範囲が限定的

その3  
ばらばらの体制で非効果的

対象の独身者

- 魅力、交際を継続する力に欠ける
- 理想が高い、決断できない

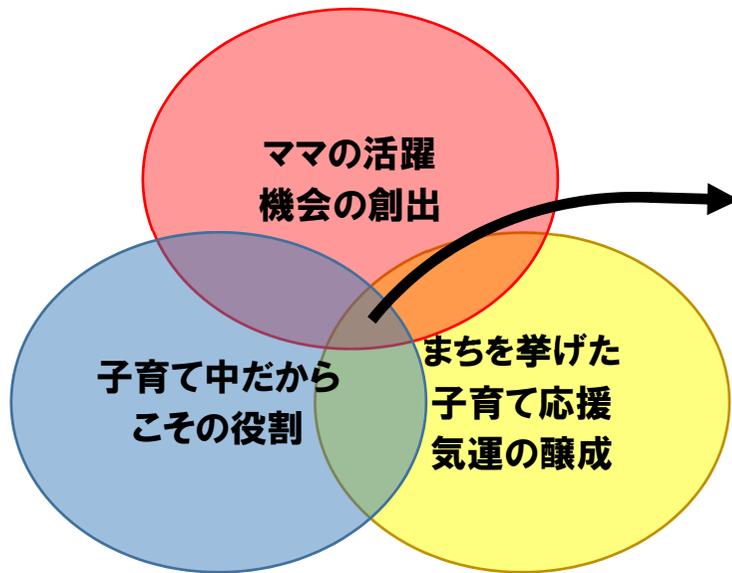
市・縁むすびさん

現在の支援体制

社協・はーとピー

- マッチング先がそれぞれ独立していて、広がらない。
- 市は専任者がおらず、専門性が継続されにくい。
- 社協は独身者を個別にサポートできる体制にない。

## 子育てママの活躍機会促進事業の拡充



2018年度～

NPO 法人ママの働き方応援隊による  
「赤ちゃん先生プログラム」の実施



&lt;2019年度実績&gt;

- 学校や地域で「赤ちゃん先生」開催  
小中学校5回、区・地域コミュニティ4回  
(1日当たり 33千円～69千円)
- 夢但馬産業フェアへスタッフ派遣  
(54千円)

2019年度～

「ママによるイベント開催事業補助金」を創設

- ママによる、ママのための、ママと子どもを対象にしたイベントを対象
- まちの人に見てもらうため、子育て広場でのイベントに限定
- 補助率は、10/10、上限5万円  
(今年度予算 150千円)



親子で賑わう子育て広場でのイベント  
〔「ハグハグフェスタ豊岡」〕